

建設関係技能者人材育成確保事業 人材育成事例集 掲載企業

- 01 株式会社 イッシン
建物の防水工事(外壁、屋根、屋上など)
- 02 株式会社 大平造園土木
造園(植付け、剪定)、エクステリア、公共緑化工事
- 03 株式会社 小野里工務店
型枠工事業(鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリートなどの型枠建設)
- 04 株式会社 家具の八木沢
木製家具製造(椅子、テーブル、机など)
- 05 株式会社 久保田工務店
住宅建築大工、住宅建築内装工事など
- 06 株式会社 坂本板金
屋根、外壁、雨樋などの施工・金属加工
- 07 有限会社 福田建設
総合建築請負、土木建築工事、設計、施工



厚生労働省委託事業
地域創生人材育成事業
平成29年度～令和元年度

建設関係技能者人材育成確保事業 人材育成事例集

茨城県産業戦略部労働政策課

<https://www.pref.ibaraki.jp/shokorodo/shokuno/jinzai/chiikisousei.html>



茨城県技能士会連合会
<http://www.ibagiren.jp/>



地域創生人材育成事業

少子・高齢化による人口減少、若者の県外流出の増加などにより、様々な分野において人手不足が顕在化していることから、人手不足分野において、従来の公的職業訓練の枠組みでは対応できない人材育成の取り組みを通じて、安定的な人材の確保を目的とした事業です。

平成29年度から最大3年間の厚生労働省委託事業「地域創生人材育成事業」を活用することで、製造業、建設業、福祉分野における人材の育成・確保を図りました。



建設関係技能者人材育成確保事業

1 目的

本県のインフラ整備に不可欠な建設業において、人手不足や若年者の早期離職が大きな課題となっている一方、建設業者は特に小規模な事業所が多く、技能者養成の体系化やノウハウ蓄積が不十分であることから、新人入職者向け人材育成プログラムの開発とそれを活用した雇用型訓練を一体的に実施することにより、建設業の技能継承に欠かせない新人技能者の確保と定着率向上を図ることを目的としました。

2 事業内容

① 若年求職者を対象とした建設関係技能者を育成するための雇用型訓練の実施に向けた「新人技能者人材育成プログラム」の開発

建設業に入職する新人技能者が、どの段階で、どのような技能を身につければよいかについて、求められる技能の内容や一人前になるまでのスケジュール及び知識・技能の習得方法を示すものとして、標記プログラム(「訓練カリキュラム」+「訓練評価シート」)を開発しました。

【実績】

年度	プログラム職種
H29	造園、鳶、左官、鉄筋、建築大工、型枠施工、建築塗装
H30	内外装板金、かわらぶき、内装ボード仕上げ、タイル張り、防水施工、建築配管、家具・建具

② 建設業に係る民間事業者における雇用型訓練の実施

建設系事業所から選定した訓練実施事業所において、若年求職者を雇い入れ企業内訓練(OJT・最長10ヵ月間)を実施しました。

【実績】

年度	参加企業(社)	参加訓練生(名)
H30	11	15
R1	14	15
合計	25	30

③ 訓練コーディネーターなどによる支援

訓練計画書の作成から雇用型訓練の修了まで、コーディネーターによる継続的な相談支援を実施しました。また、訓練実施中、コーディネーターが訓練実施事業所を訪問するなど、訓練の進捗状況などを確認しながら進捗管理を行いました。

④ 訓練生集合研修会の開催

各訓練実施事業所の雇用型訓練を実施する訓練生が一同に会し、訓練に必要な知識・技能を身につけるとともに、訓練生同士の情報交換の機会を確保するための集合研修会を開催しました。

各職種に共通した「訓練カリキュラム」例

訓練職種		〇〇	
訓練目標		職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、職場のルールを理解する。また、〇〇施工について、作業の流れや自らの分担を把握し、上司・先輩などの指示を理解できるようにするとともに、安全・適切な作業ができるように基礎的な知識・技術を身につける。	
仕上がり像		(1) 〇〇職種について概要を理解し、作業打合せや現場のルールに則り工程を厳守して、〇〇施工に係る基本的な業務が確実にできる。 (2) 社会人としてのマナーを身につけ、安全衛生に配慮した作業ができる。 (3) 〇〇工事の作業の流れを理解し、上司・先輩などの指示を受けて適切な補助ができる。 (4) 上司・先輩などの〇〇工事の補助を通じて、自らの技能の習得に努めることができる。	
職務又は作業等		職務又は作業等の内容	
実技(OJT)	基本的なマナー	働く意識と取組み姿勢、ビジネスマナーなど	
	安全衛生作業	安全活動(5S・KYT・ヒヤリハット)、QC活動、労働安全衛生活動、環境対策、作業に伴う安全衛生など	
	現場準備作業(段取り作業)	材料選定、器具・工具点検、準備、運搬、工事現場の養生作業など	
	品質・工程維持	清掃活動全般(工具等も含む)、分別保管、後片付け、整理・整頓など	
座学等(Off-JT)	学	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、コミュニケーション、チームワーク、企業活動の理解、職業倫理とコンプライアンス、接遇、ホスピタリティなど
		安全衛生作業	5S、安全装置や保護具の用途と安全作業、QC活動、労働災害の防止、健康管理、メンタルヘルス、リスクアセスメント、環境問題、製造物責任など
	科	材料・工具などの基礎知識	作業に必要な材料・工具などの基礎知識
		関連法令	関連工事(作業)に関する法律など
実技	安全衛生作業	安全活動、QC活動、衛生管理実務、環境対策、救急法など	
	段取り作業	材料の種類・識別・特徴、分別保管の方法、運搬、整理・整頓、器具・工具の基本的な取扱いなど	
取得目標資格・検定など		① 技能検定(〇〇2級) ② 〇〇技能講習など	
指導育成のポイント		① 訓練の目標、訓練の内容、訓練による最終仕上がり像等を訓練者自身が十分理解できるように説明する。 ② 訓練者の特質、習得状況に応じた指導のための工夫を行う。	



01 株式会社 イッシン

代表取締役：湯原 健
 所在地：茨城県つくば市学園の森1-6-1
 企業概要：建物の防水工事(外壁、屋根、屋上など)
 従業員数：20名
 訓練職種：防水施工
 U R L：http://issin-201602.com/



事業参加のきっかけ

弊社は、建物に関わる内外装工事全般を取り扱っております。現在は、特に、工期の短縮、高防水性、環境に配慮した安全性など、様々な下地状況対応などの要求が有りこれらに対応し、更なる技術力アップに努めています。このような中で、如何に新人・中途入社の方の技術力を高めるかが大きな課題となっておりました。今回、茨城県技能士会連合会の本事業の紹介をいただき、10ヶ月の訓練で、人材育成の訓練(基本的なマナー、職業意識の向上や心構え、基本技能など)に取り組めると伺い参加させていただくことを決めました。

取り組みの内容

今までは、社員が書く実習日誌により技術の習得レベルを確認していましたが、今回は「新人技能者人材育成プログラム」に従い訓練を行いました。特に、挨拶・身だしなみなどのビジネスマナーをはじめ、工具の扱い方・材料の作り方・動線確認・段取り作業・防水材の裁断・混練・片付け・清掃などの基本実技の習得などに力を入れ訓練をしました。専門用語などは訓練生自身で調べさせ、それを他の人に説明することをくり返し、深く理解することで覚えらるよう取り組みました。訓練生集合研修会では、帰社して、研修会の内容を報告してもらい社内で共有するを行いました。



本事業の成果

- ・社会人としての心構えができ、余裕を持った行動ができるようになりました。
- ・安全衛生の知識向上により、周囲への配慮ができるようになりました。
- ・作業工程・手順を理解し、指導者の指示を理解できるようになりました。また、動線を考えた材料の運搬を行えるようになりました。
- ・基本的な防水仕様を理解できるようになり、工具の扱いにも慣れ、作業効率が向上しました。
- ・「訓練評価シート」を利用することにより、自分の出来ること・出来ないことが分かり、またこれを基に指導者とのコミュニケーションが以前より活発になりました。
- ・本事業により、新人教育のため何を行うべきか、基本的な見直しが出来ました。

今後の課題や取組

指導者からの指示や現場作業を通じ、多種多様な防水仕様の知識・技能を深め、「新人技能者人材育成プログラム」で資格取得目標にしている、技能検定(防水施工2級)を取得させたいと考えています。更に、基本的な社会人マナー・自己管理の徹底など職業人としての社会的責任を果たせるように育成を図ってまいります。

本事業後の声

- ・この訓練をきっかけに、技能検定(防水施工2級)やその他資格取得のために勉強していきたいです。(訓練生)
- ・本事業により訓練生とのコミュニケーションが深まり、指導がやり易くなりました。また、訓練生の社会人としての基本的なマナー・専門用語の理解・安全衛生の知識が深まりました。(指導者)



01 訓練カリキュラム 「防水施工」

訓練目標		(1)職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、職場のルールを理解する。(2)多種多様な防水仕様を、学科講習、実技講習(メーカーの開催する技能講習など)および現場作業を通じ、身につけさせる。(3)防水工事を安全かつ適切に実施する為、作業の流れや自らの分担を把握し、上司・先輩などの指示を理解できるようにするとともに、安全・適切な作業ができるように、基礎的な知識・技術を身につける。		
仕上がり像		(1)防水工事について概要を理解する。(2)現場のルールに則り基本的な業務が確実にできる。(3)社会人としてのマナーを身につけ、安全衛生に配慮した作業ができる。(4)防水工事の作業の流れを理解し、上司・先輩などの指示を受けて適切な補助ができる。(5)上司・先輩などの防水工事の補助を通じて、自らの技能の習得に努めることができる。(6)基本的な防水仕様を理解する。		
職務又は作業等		職務又は作業等の内容	時間	備考
実技(OJT)	1 基本的マナー	働く意識と取組み姿勢、ビジネスマナーなど	80	自企業で中心となる職務又は作業等を選択・削除(カスタマイズ)、時間を変更し、設定する。
	2 安全衛生作業	安全活動(5S・KYT・ヒヤリハット)、労働安全衛生活動、環境対策、廃棄物処理など		
	3 段取り作業	電動工具の確認、資材・工具類の設置場所の確認、作業範囲の確認、墨出し作業、養生作業、材料等の運搬、仕様確認、資材(積算)の計画など	720	
	4 品質・工程維持	天候確認(気温・湿度・翌日以降の予報)、作業動線の確認、所定寸法・材料の確認、工具類の清掃・分別保管・後片付け・整理整頓、発生廃材の分別収集、QC活動など		
	5 防水材の裁断・混練	作業範囲の所定の部位に、無駄なく材料を使用するための材料裁断・量の確認、作業手順に従った材料の混練など		
	6 防水材敷設・塗布・充填	作業範囲の所定の部位・位置に、所定の工具を用いて、仕様に沿った材料を敷設・塗布・充填するなど		
	7 片付け・清掃	工事現場のルールに基づき、再利用材料と不要材の分別及び集積、整理・整頓・清掃・片付け・資材の保管、など		
		OJT計	800.0時間	
座学(Off-JT)	1 職業能力基礎講習	ビジネスマナー、コミュニケーション、チームワーク、企業活動(事業領域・組織・経営理念・社是等)の理解、職業倫理とコンプライアンス、接遇(身だしなみ・態度)、CS(顧客満足度)、ホスピタリティなど	10	新規採用時研修と同等
	2 安全衛生	5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)、安全装置や保護具の用途と安全作業(安全点検・KY活動・ヒヤリハット)、労働災害の防止、健康管理、メンタルヘルス、リスクアセスメント、環境問題、ヒューマンエラー、創意工夫、異常時及び災害時の緊急措置、製造物責任(PL)など	10	
	3 防水施工総論	①建築構造物について ②施工図面読解、ネットワーク工程について ③防水工事の基礎知識(一般事項、防水の種類、使用材料、部材の名称、器具類など) ④アスファルト系防水について ⑤合成高分子系ルーフィングシート防水について ⑥塗膜系防水材について ⑦シーリング防水について ⑧その他の防水材について(外壁防水・セメント系防水など) ⑨端未処理(納まり)など	80	自企業で中心となる職務又は作業等を選択・削除(カスタマイズ)、時間を変更し、設定する。
	4 救命入門コース	応急手当の普及啓発活動の推進に関する90分講習など	1.5	
	5 能力評価	規則厳守、技能習得、積極性など	3.5	
		学科計	105.0時間	
実技	1 安全衛生作業	安全活動(5S、KY活動)、衛生管理実務、救急法(心肺蘇生処置、AED操作)、建設関係の安全作業など	15	自企業で中心となる職務又は作業等を選択・削除(カスタマイズ)、時間を変更し、設定する。
	2 段取り作業基本実技	防水材料の種類と識別、分別保管の方法、運搬、整理・整頓など	80	
	3 防水作業基本実技	墨出し、刷毛・ローラーの持ち方、電動工具類の取扱い、材料の運搬、材料の調査・希釈・攪拌の各方法など		
	4 防水仕上げ基本実技	アスファルト防水、シート防水、塗膜防水、セメント系防水、FRP防水、シーリング防水など		
		実技計	95.0時間	
		座学(Off-JT)計	200.0時間	
		訓練カリキュラム合計	1000.0時間	
取得目標資格・検定等	①防水施工2級(技能検定) ②有機溶剤作業主任者技能講習 ③特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 ④自由研削といしの取替え等の業務に係る特別教育			
指導育成のポイント	・訓練の目的・訓練の内容・訓練による最終仕上がり像などを訓練者自身が、十分理解できるように説明する。 ・訓練者が行った訓練の成果をその都度確認し、良かった点・悪かった点・改善方法などを伝える。 ・工事開始から終了までの一連の流れが体験できるよう、実技訓練の実施する順序などに配慮する。 ・Off-JTで学んだ事がOJTで活用できるよう、OJT指導者は訓練の経過や内容を随時確認する。 ・技能者であるとともに社会人であることを意識させ、社会人としての基本的なルールを守れる人材育成を目指す。			
備考				

02 株式会社 大平造園土木

代表取締役：大平 晶
 所在地：茨城県笠間市鯉淵6241-42
 企業概要：造園(植付け、剪定)、エクステリア、公共緑化工事
 従業員数：18名
 訓練職種：造園
 U R L：http://z-ooohira.com/



事業参加のきっかけ

茨城県技能士会連合会から本事業のことを知り、新入社員が県外から2名入社する事を機会に、事業に参加して「新人技能者人材育成プログラム」に基づき育成訓練を行うことで、今まで目が行き届かなかった技能の習得や社会人としての健全な職業観を身につけることができると思い、参加を決めました。

取り組みの内容

造園業の場合、作業しながら教えるのが中心となりがちでしたが、「新人技能者人材育成プログラム」に基づき、社会人マナーや安全教育など、細かな所まで順を追って訓練することが出来ました。

また、今まで行っていなかった座学を実施したことにより、庭園文化・図面作成・法令などの知識・技能も高めることができました。



本事業の成果

「訓練評価シート」を使用することで、できている点、できていない点などが明確になり訓練生、指導者共に習熟度を確認することができました。

また、指導者は、忙しい現場でも一呼吸おいて訓練生に説明することができ、現場から帰ってきてからもその現場で教えた事の復習を座学でできたことで、早く技能習得させることができました。

今後の課題や取組

今後、会社から期待される人材となる様に、どう教育・訓練していくかが一番の課題であり、会社存続の鍵になると思います。その為には、社員が働きやすい体制や環境づくりを常に考え、整えていくことが人切であり、社員のモチベーションが上がれば仕事にも良い影響を与え、顧客の満足度も上がり、会社の存続にも繋がると考えています。

また、本事業で開発した「新人技能者人材育成プログラム」を自社用に改定するなどして、大いに有効活用していきたいと思っています。

本事業後の声

・本事業に参加して、伝統的な技術をより一層深く学ぶことができました。訓練生集合研修会では、普段の仕事においては全く関わりのないような職種の方々と交流でき、他職種の知識が深まり視野が広がりました。(訓練生)

・入社しても辞めてしまう人が多い現代社会において、人手の足りないこの業界において、今後は「新人技能者人材育成プログラム」を活用して人材育成を行い、定着を図っていききたいと思います。(社長)



02 訓練カリキュラム 「造園」

訓練目標		職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、職場のルールを理解する。また、造園施工について、作業の流れや自らの分担を把握し、上司・先輩などの指示を理解できるようにするとともに、安全・適切な作業ができるように、基礎的な知識・技術を身につける。				
仕上がり像		①造園工事について概要を理解し、作業打合せや現場のルールに則り工程を遵守して、造園施工に係る基本的な業務が確実にできる。②社会人としてのマナーを身につけ、安全衛生に配慮した作業ができる。③造園工事の作業の流れを理解し、上司・先輩などの指示を受けて適切な補助ができる。④上司・先輩などの造園工事の補助を通じて、自らの技能の習得に努めることができる。				
職務又は作業等		職務又は作業等の内容	時間	備考		
実技(OJT)	1	基本的なマナー	働く意識と取組み姿勢、ビジネスマナーなど	100		
	2	安全衛生作業	安全活動(5S,KYT,ヒヤリハット)、QC活動、労働安全衛生活動、環境対策、造園作業に伴う安全衛生など	110		
	3	現場準備作業	器具・材料などの選定、準備、運搬、段取り、工事監理、工事現場の養生作業など	110		
	4	植栽	作業準備(樹種・樹形・樹高・幹周などの確認)、掘取り・根巻き・運搬、根回し(根の切断作業)、植え付け・養生、移植など	120		
	5	造園工事	植木・垣根などの施工作業、石工事(飛び石・敷石・延べ石など)の施工作業など	120		
	6	樹木管理	樹木の生育や特性、景観づくりを意識した整枝・剪定・管理(除草・灌水・施肥、病気・害虫対策、補植・保護・養生、枝葉の清掃)など	120		
	7	植栽管理	施設や公園管理における緑地管理作業(除草・灌水・施肥、病気・害虫対策、補植・保護・養生、枝葉の清掃)など	120		
			OJT計 800.0時間			
訓練カリキュラム内容	学科(Off-JT)	1	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、コミュニケーション、チームワーク、企業活動(事業領域・組織・経営理念・社是など)の理解、職業倫理とコンプライアンス、接遇(身だしなみ・態度・CS(顧客満足度)、ホスピタリティなど	15	
		2	安全衛生	5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)、安全装置や保護具の用途と安全作業(安全点検・KY活動)、QC活動、労働災害の防止、健康管理、メンタルヘルス、リスクアセスメント、環境問題、製造物責任(PL)など	15	
		3	造園・庭園文化・技術	造園における課題や知識・歴史文化技術(庭園の作成概念・伝統的な工法・技能)の理解など	5	
		4	樹木などの知識	植木に関する予備知識、植栽方法、クレーンなどの玉掛け作業、樹木の運搬方法、灌水を必要とする樹木に関する知識など	10	
		5	造園工事などの知識	植木・垣根などの施工や、石工事(飛び石・敷石・延べ石など)施工に必要な道具の知識など	15	
		6	作業管理	品質、工程、材料、器具、機械・工具の管理、公園・修景施設管理(仕様書の理解・施設の特長・維持管理計画)など	15	
		7	造園関連法令	都市公園法、自然公園法、農業使用に関する法律、関連工事に関する法律など	15	
		8	IT概論	文書作成、データ管理、CAD図面作成システムなど	10	
			学科計 100.0時間			
実技	1	安全衛生作業	安全活動、QC活動、労働安全衛生活動、環境対策、産業廃棄物処理、救急法(心肺蘇生法、AED操作)など	20		
	2	段取り作業	安全衛生作業、作業段取り、施工など	25		
	3	造園基本実習	造園作業における機械・工具の、取り扱い・手入れ・保管法など	30		
	4	IT実習	文書作成(ワード、エクセルなど)、データ管理(業務計画、休日など)、見積書作成、請求書作成など	25		
			実技計 100.0時間			
			座学(Off-JT)計 200.0時間			
			訓練カリキュラム合計 1000.0時間			
取得目標資格・検定等	①造園2級(技能検定) ②小型移動式クレーン運転技能講習(5t未満) ③玉掛け技能講習(1t以上) ④高所作業車運転技能講習(床高10m以上) ⑤刈払機取扱作業安全衛生教育 ⑥伐木等の業務に係る特別教育 ⑦ロープ高所作業に係る特別教育					
指導育成のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の目標、訓練の内容、訓練による最終仕上がり像などを訓練者自身が十分理解できるように説明する。 ・訓練者の特質、習得状況に応じた指導のための工夫を行う。 ・作業見本を見せてみて、本人に実施させてみて、なぜその作業が必要なのかを解説し、作業を完了できたことを認めてあげる。 ・幅広い体験を通じて、会社や仕事に対する理解を促し、発想の幅を拡大する。 ・教育者と訓練者の関係以外に、社内の仲間意識や共同作業による効率化なども学んでもらい、現場遂行能力と人間性の育成に努める。 					
備考						

03 株式会社 小野里工務店

代表取締役：小野里 勝彦
 所在地：茨城県結城郡八千代町菅谷1015
 企業概要：型枠工事業（鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリートなどの型枠建設）
 従業員数：30名
 訓練職種：型枠施工



事業参加のきっかけ

型枠は、鉄筋コンクリート造（RC造）、鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）の骨格をつくる基幹的な職種です。後継者を育成するために、弊社は、若い人材の育成が大変重要と考え、高校卒業前の学生に対して出前授業を行い建設業（型枠）に関心を持っていただくように積極的に活動しています。しかしながら、現状、若い人材は、入社後1～3年では仕事がなかなか覚えられなくて退職してしまいます。この主な原因は、体系的に教育できる訓練プログラムがなく、マンツーマンで指導することが時間的にも難しく、効率よく教えることができないためです。このような状況の中で、茨城県技能士会連合会から本事業の紹介をいただき、興味を持ち参加させていただくことになりました。

取り組みの内容

「新人技能者人材育成プログラム」に基づき、型枠施工について、10ヶ月間の実技（OJT）、座学（Off-JT）を通じて、施工過程の段取りや作業手順、材料加工などの技術を習得できるように指導しました。

その他、6種の目標資格取得（足場の組立等作業従事者特別教育、玉掛け技能講習（1トン以上）など）や訓練生集合研修会に参加して「災害擬似体感」により安全意識の高揚を図った他、「訓練評価シート」を活用し習熟度合を明確にし、達成度の把握に努めました。



本事業の成果

「新人技能者人材育成プログラム」で取得目標とした6種の資格を全て取得しました。また、「訓練評価シート」を活用することにより習熟度が明確になり、目標達成度の把握ができるようになりました。さらに、指導者は、訓練生が訓練実習日記を書くことで、現在の仕事の内容、困っている点、悩んでいる点などがすぐ把握でき、これに対するアドバイスが早くできるようになりました。

今後の課題や取組

今後は、訓練生は、6種の資格以外にも難易度の高い技能検定（型枠施工3級）を目指しているため、会社としては、取得のために、より高いレベルの指導をしたいと思っております。また、「新人技能者人材育成プログラム」をより自社の業務に合うよう見直し、中級・上級クラスの人材育成プログラムを開発し活用していきたいと思っております。更には、これを機会に業務のIT化を進めCADツールなどの利用推進も図りたいと考えています。

本事業後の声

- ・訓練生集合研修会では、普段できないような「スピーチ実践」や「災害擬似体感」など、これからの仕事に活かせるものばかりでした。また、社会人として基本的な事を身に付ける事ができ、引き続き技術面でもレベルアップに繋がるよう努力して行きたいと思っております。（訓練生）
- ・今回の事業に参加し、若手育成に必要な点を改めて見直す機会となりました。また、訓練終了後も訓練生の技術の向上を図れるよう、仕事に対する熱い思いを技能として具現化できるように「新人技能者人材育成プログラム」を活用し指導していきたいと考えています。（社長）



03 訓練カリキュラム 「型枠施工」

訓練目標		職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、職場のルールを理解する。また、型枠施工について、場内・場外の加工場における型枠材料の事前加工に関わる作業、施工過程の搬入作業・型枠組立作業、解体・搬出作業などを工程に従って、作業手順に則り要求された品質で、安全に実施する為、作業の流れや自らの分担を把握し、上司・先輩などの指示を理解できるようにする。			
仕上がり像		①型枠工事業について概要を理解し、作業打合せや現場のルールに則り工程を遵守して、型枠施工に係る基本的な業務が確実にできる。②社会人としてのマナーを身につけ、安全衛生に配慮した作業ができる。③型枠工事の作業の流れを理解し、上司・先輩などの指示を受けて適切な補助ができる。④上司・先輩の型枠工事の補助を通じて、自らの技能の習得に努めることができる。			
職務又は作業等		職務又は作業等の内容		時間	備考
実技（OJT）	1 基本的なマナー	働く意識と取組み姿勢、ビジネスマナーなど		80	自企業で中心となる作業毎に教科及び内容を選択・削除（カスタマイズ）、時間を変更し、設定する。
	2 安全衛生作業	安全活動（SS、KYT、ヒヤリハット）、労働安全衛生活動、環境対策、廃棄物処理など			
	3 段取り作業	電動工具の確認、資材置き場・工具類の設置場所の確認、墨出し作業、敷パタ・敷板作業、材料等の運搬、資材（積算）の計画など			
	4 品質・工程維持	清掃活動、電動工具の清掃、分別保管、後片付け・整理整頓、材料の取扱い注意事項確認など			
	5 型枠材料加工	無駄なく材料を使用するための材料寸法の確認、下ごしらえの基準及び加工方法、作業手順に従った番付方法、フォークリフトなどの揚重機設備の安全基準と操作方法など			
	6 型枠組立作業	工事現場の基本ルールの確認、作業区域における安全管理、朝礼での注意事項や職長指示の実施方法、クレーンなどの揚重機使用時における安全作業、仕上げに対応したPコンやセパレータなど金物の取付、組立工具の取り扱いなど			
	7 型枠解体・搬出作業	工事現場の基本ルールの確認、作業標準に基づく作業方法、作業区域における安全管理方法、朝礼での注意事項や職長指示の実施方法、再利用材料と不要材の分別及び集積の方法など			
		OJT計		800.0時間	
座学（Off-JT）	1 職業能力基礎講習	ビジネスマナー、コミュニケーション、チームワーク、企業活動（事業領域、組織、経営理念、社是等）の理解、職業倫理とコンプライアンス、接遇（身だしなみ、態度）、CS（顧客満足度）、ホスピタリティなど		15	OJT前の基本知識の付与
	2 安全衛生	SS（整理、整頓、清掃、清潔、躰）、安全装置や保護具の用途と安全作業（安全点検、KY活動、ヒヤリハット）、労働災害の防止、健康管理、メンタルヘルス、リスクアセスメント、環境問題など		15	
	3 型枠施工概要	鉄筋コンクリート工事概論、施工図面読解、ネットワーク工程表、型枠の基礎知識（一般事項、型枠の種類、使用材料、部材の名称、器具類）、型枠組立（納まりと存置期間）、仮設計画（支保工）、型枠図面、レベルやトランジェットなどの測量機器、作業状況に合わせた墨出しなど		78	
	4 足場掛け	足場に関する基礎知識、転落・墜落防止策など			
	5 丸のご操作	丸のごに関する基礎知識・使用方法など			
	6 玉掛け技能講習（知識）	クレーンなどに関する知識、玉掛けの方法、玉掛けに関する力学知識、関係法令、講習評価など		14	
	7 小型移動式クレーン運転技能講習（知識）	小型移動式クレーンに関する知識、原動機及び電気に関する知識、関係法令、講習評価など			
		学科計		108.0時間	
実技	1 安全衛生作業	安全活動（SS、KY活動）、衛生管理実務、救急法（心肺蘇生、AED操作）、建設関係の安全作業		15	
	2 段取り作業基本実技	型枠材料の種類と識別、器具・工具・電動工具の基本的な取扱い方		15	
	3 型枠作業基本実技	墨付け、釘の打ち方、木材の切断の仕方、器具・工具・電動工具の取扱い練習実技		48	
	4 玉掛け技能講習（実技）	クレーンなど運転のための合図、クレーンなどによる玉掛け		14	
	5 小型移動式クレーン運転技能講習（技能）	小型移動式クレーンの運転操作			
		実技計		92.0時間	
		座学（Off-JT）計		200.0時間	
		訓練カリキュラム合計		1000.0時間	
取得目標資格・検定等	①型枠施工3級（技能検定） ②玉掛け技能講習（1トン以上） ③丸のご等取扱い作業従事者 ④足場組立て等作業従事者特別教育 ⑤移動式クレーンの運転業務（吊上げ荷重1トン未満）				
指導育成のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の目的、訓練の内容、訓練による最終仕上がり像などを訓練者自身が十分理解できるように説明する。 ・訓練生が行った訓練の成果をその都度確認し、良かった点・悪かった点・改善方法などを伝える。 ・工事開始から終了までの一連の流れが体験できるよう、実技訓練の実施する順序などに配慮する。 ・Off-JTで学んだ事がOJTで活用できるよう、OJT指導者は訓練の経過や内容を随時確認する。 ・技能者であるとともに社会人であることを意識させ、社会人としての基本的なルールを守れる人材育成を目指す。 				
備考					

04 株式会社 家具の八木沢

代表取締役：八木沢 章
 所在地：茨城県水戸市五軒町3-3-66
 企業概要：木製家具製造(椅子、テーブル、机など)
 従業員数：11名
 訓練職種：家具・建具
 U R L：https://www.yagisawamokko.jp/



事業参加のきっかけ

当社は職人の高齢化が進み、技術継承や新規事業のためにも若者の採用を積極的に行い、技術やノウハウを若い世代に引き継いでいきたいと考えていました。SNS等も活用し求人募集を行っていたところ、家具建具技能士会から本事業の紹介がありました。この事業は「新人技能者人材育成プログラム」を基に、実技(OJT)・座学(Off-JT)の訓練期間を設けて人材育成ができ、また、訓練コーディネーターによる支援を受けることができると伺い、参加を決めました。

取り組みの内容

「新人技能者人材育成プログラム」を基に実技(OJT)を行いました。技能の習熟状況を指導者による評価だけでなく、「訓練評価シート」で訓練生が自己評価をすることで、指導者が訓練生の理解度や、訓練の進み具合を随時チェックしながら教育をする事が出来ました。

また、月に1回、訓練コーディネーターと一緒に面談を行うことで、訓練生の仕事に対する考え方などを改めて確認することができました。



本事業の成果

訓練生集合研修会では、社会人としてのマナーや考え方の講習なども行われましたが、なかなか会社では教える時間が取れないので、社会経験のない訓練生にとって仕事に対する責任感や行動力を学ぶ良い機会になり、その後の働き方にも変化が見られました。

また、技能検定取得という明確な目標を持つことにより、日々の訓練へのモチベーションを保つことが出来たと思います。

今後の課題や取組

若手や優秀な人材が長期的に働いてくれることは、企業の人的コストの効率を向上させるだけではなく、企業の強みになると考えています。新入社員には「新人技能者人材育成プログラム」なども有効に活用し、継続的な社員教育を行ってほしいと思います。また、弊社では、資格取得者への手当・支援などを行っています。社員のモチベーションが維持され、仕事の効率化へとつながると考えているので、今後も積極的に取り組んでいきたいと考えています。

本事業後の声

- ・訓練期間中は、訓練コーディネーターによるきめ細かな支援を受けることができ、焦らず訓練することができました。(指導者)
- ・訓練生の採用後にも募集が多数あり、別職種からの中途採用者の入社や、新卒者の内定も決まりました。今回、「新人技能者人材育成プログラム」のカリキュラムに沿って効率よく教えることが出来たので、今後入社してくる社員に対しても活用していきたいと考えています。(社長)



04 訓練カリキュラム 「家具・建具」

訓練目標		職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、職場のルールを理解する。また、製作・施工について、作業の流れや自らの分担を把握し、上司、先輩などの指示を理解できるようにするとともに、安全・適切な作業ができるように、基礎的な知識・技能を身につける。		
仕上がり像		①家具建具業について概要を理解し、作業打合せや現場のルールに則り工程を厳守して、家具建具製作・施工に係る基本的な業務が確実にできる。②社会人としてのマナーを身につけ、安全衛生に配慮した作業ができる。③家具建具製作・施工の作業の流れを理解し、上司・先輩などの指示を受けて適切な補助ができる。④上司・先輩などの家具建具製作・施工の補助を通じて、自らの技術の習得に努めることができる。⑤将来的に目指す家具建具職人像をイメージし、その実現に向けてのキャリアパスを自覚する。		
職務又は作業等		職務又は作業等の内容	時間	備考
実技(OJT)	1 基本的なマナー	働く意識と仕事への取組み姿勢、ビジネスマナーなど	10	必須実施項目
	2 法令遵守と現場マナー	安全装置・保護具の装着、事故防止、環境保全、事故等の報告、騒音等の配慮、整理整頓など	50	
	3 段取り	材料置場、工具類の設置場所の確認および養生、工具類の点検、現場採寸(現地などの調査)など	60	
	4 製品加工	現場枠に合わせた建付け調整及び切断加工(機械加工、手加工)など	680	全項目の実施を求めるとはならず、または習得させるべき作業を精査し、作業工程を意識した内容・順序で訓練を実施、左記時間を確保する。
	5 金物加工	丁番取付(開き戸・開き蓋(ぶた)などの支え・自由開閉など)、引手などのサイズに応じた選定掘り込み加工・取付など		
	6 仕上げ	鉋による仕上げ加工、稼働状況確認、建具製品の清掃など		
			OJT計 800.0時間	
座学(Off-JT)	1 職業訓練基礎	業務遂行に必要なビジネスマナーや、職業倫理などに関する知識など	20	OJT前の基礎知識
	2 安全衛生	作業環境の整備(整理整頓・姿勢・服装・安全標識など)、危険予知、救急対処法(心肺蘇生法、AED操作法)、防火対策など	20	
	3 家具・建具の基礎	家具建具の種類・用途および特性、材料の選定、図面の読み取り方と描き方、現場採寸など	48	
	4 木材加工の基礎	加工の手順、継手や仕口の種類の種類・切削方法、接着方法など		
	5 手加工の基礎知識	手工具の種類や構造・用途・使い方とメンテナンス、治具など	20	
	6 機械加工の基礎知識	機械の種類・構造・機能・用途・使い方とメンテナンス、治具、安全装置、保守点検など		
			学科計 108.0時間	
実技	1 道具・機械の基礎知識	手工具・電動工具・木工機械などの取り扱い、および手入れなど	30	OJTと並行して基礎技術の習得・定着
	2 加工製作	木取り、墨付け、ホゾ・穴加工(手加工・機械加工)など	42	
	3 組立	框(かまち)組の角度・ねじれの修正、フラッシュ骨組への合板接着、木殺し、平ホソ接合、箱部の組立など	20	
	4 仕上げ作業	目地払い、鉋による仕上げ、サンダー掛けによる仕上げ、仕込み調整、金物取付など		
	5 片付け・清掃	片付け・清掃など		
			実技計 92.0時間	
			座学(Off-JT)計 200.0時間	
			訓練カリキュラム合計 1000.0時間	
取得目標資格・検定等	①家具製作3級・2級、建具製作2級(技能検定) ②木材加工用機械作業主任者技能講習 ③丸のこ等取扱作業安全衛生教育 ④技能五輪全国競技大会出場(家具、建具)			
指導育成のポイント	・訓練の目標・内容・訓練による最終仕上がり像などを、訓練者自身が十分理解できるように説明する。 ・技術者としての人格形成、社会に対応できるように指導する。 ・安全衛生・コンプライアンスの指導。 ・家具建具製作にあたっての、技能者心得の指導。			
備考				

05 株式会社 久保田工務店

代表取締役：松村 博康
 所在地：茨城県結城市久保田1279
 企業概要：住宅建築大工、住宅建築内装工事など
 従業員数：10名
 訓練職種：内装ボード仕上げ
 U R L：https://kubotakoumuten.com/



事業参加のきっかけ

当社は社長1人で会社を立ち上げ、創業当時から1人また1人と少しずつ社員が増えてきた会社です。その間、社則という決まり事を設けましたが人材育成については成り行き任せで、その都度、担当者に割り当てる様な方針でした。

今回、茨城県技能士会連合会から本事業についての紹介があり、新人社員の教育だけでなく指導者側の指導法も学べたらと考え参加しました。

取り組みの内容

当社は主に、注文住宅の設計と施工をする会社です。現場での施工は仕事を見ながら少しずつ覚えていく事になりますが、安全衛生面への教育というのは余り出来ていなかったように思います。「新人技能者人材育成プログラム」を基に5Sの重要性、社会人マナー教育にも時間を設け、指導することによって、基礎的な内容を指導することの大切さにも気づきました。工具の点検や役割を考えさせ、また材料の種類や特性など、基礎からしっかり習得できるように指導に取り組みました。



本事業の成果

これまで統一されていなかった社員の育成が、今回の「新人技能者人材育成プログラム」により、5Sの徹底や健康管理など今まで出来ていなかった取り組みができ、教育時間の配分も明確で、定期的なミーティングも行えるようになりました。

また、指導者も積極的に「新人技能者人材育成プログラム」に取り組むことで指導する意欲も増しました。訓練生は、指導者へ質問がより出来るようになり、自己評価する事により改善点も見い出すことが出来るようになりました。

今後の課題や取組

今後はこの「新人技能者人材育成プログラム」を活用することで、更に社員教育に力を入れて行きたいと思っています。定期的なミーティングで「訓練カリキュラム」と「訓練評価シート」を改善し、より一層社内に合った教育方針を考え、生産効率の向上を図っていきたいと思っています。

本事業後の声

・訓練生集合研修会では水戸城大手門の建設現場など普段見る事のできない伝統構法を見る事ができ貴重な経験になりました。訓練実習口誌を書くことにより、書く事の習慣につながりました。「訓練評価シート」で自己評価することで、できていない点を明確にすることができました。(訓練生)

・今回の訓練生集合研修会で訓練生が学んだ事(仕事に臨む姿勢・取組み方や安全擬似体感など)を社内で共有することができました。また、指導者と社員のコミュニケーションが、取りやすい環境作りに取り組んでいきます。そして、若い社員が学びやすく、やりがいのある職場づくりに力を入れていきたいと思っています。今回このような機会を与えていただき、とても勉強になり感謝致しております。(社長)



05 訓練カリキュラム 「内装ボード仕上げ」

訓練目標		職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、職場のルールを理解する。また、ボード仕上げ施工について、場内の加工場における各種石膏ボードの事前加工に関わる作業や、施工過程の搬入作業などを、工程に従って作業手順に則り安全に施工するため、作業の流れや自分の分担を把握し、上司・先輩などの指示を理解できるようにする。		
仕上がり像		①ボード仕上げ工事について概要を理解し、作業打合せや現場のルールに則り工程を厳守して、ボード仕上げ施工に係る基本的な業務が確実にできる。②社会人としてのマナーを身につけ、安全衛生に配慮した作業ができる。③ボード仕上げ工事の作業の流れを理解し、上司・先輩などの指示を受けて適切な補助ができる。④上司・先輩などのボード仕上げ工事の補助を通じて、自らの技能の習得に努めることができる。		
職務又は作業等		職務又は作業等の内容	時間	備考
実技(OJT)	1 基本的マナー	働く意識と取組姿勢、挨拶などの基本的なビジネスマナーなど	40	
	2 安全衛生作業	5S、KYT、ヒヤリハットなどの安全活動、労働安全衛生活動、廃棄物処理など	100	
	3 段取り作業	工具の確認、資材の置場確保、作業場所の確認、材料の搬入・搬出など	100	
	4 品質・工程維持	清掃活動、作業現場の整理・整頓など	100	
	5 材料加工	施工図面の理解、材料割付、材料ロスをなくすための施工場所の寸法の確認、面取り加工方法など	240	
	6 ボード貼付作業	正確なビスピッチ設定、ボード加工、ボードに合った接着剤の使用、足場設置など	220	
			OJT計 800.0時間	
座学(Off-JT)	1 職業能力基礎講習	基礎的なマナー、コミュニケーション、チームワーク、会社方針の理解、身だしなみや態度など	10	
	2 安全衛生	5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)、保護具の用途と安全作業(KY活動・ヒヤリハット)、労働災害の防止、健康管理、リスクアセスメントなど	20	
	3 ボード施工要領	石膏ボードの一般事項、石膏ボードの規格と種類、間仕切壁の施工手順、割付、ビスピッチなど	40	
	4 足場掛け	足場に関する基礎知識、転落・墜落・踏み抜き防止策など	10	
	5 玉掛け技能講習	玉掛けの基本的知識・関係法令など	10	
	6 丸のこ操作	丸のこに関する基礎知識など	10	
			学科計 100.0時間	
実技	1 安全衛生作業	5S・KY活動、建設関係の安全作業、救急法(心肺蘇生法、AED操作)など	20	
	2 段取り作業基本実技	石膏ボードの規格と種類、工具の基本的取扱いなど	20	
	3 ボード作業基本実技	間仕切壁および天井の施工手順、割付、ビスピッチなど	40	
	4 玉掛け技能講習	クレーンなどによる玉掛け講習	20	
			実技計 100.0時間	
			座学(Off-JT)計 200.0時間	
			訓練カリキュラム合計 1000.0時間	
取得目標資格・検定等	①内装仕上げ施工(ボード仕上げ工事作業)2級(技能検定) ②玉掛け技能講習(吊り上げ荷重1トン以上) ③丸のこ等取扱作業安全衛生教育			
指導育成のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の目的・内容、訓練による最終仕上がり像などを、訓練者自身が理解できるように指導する。 ・訓練生の行った成果をその都度確認し、良かった点・悪かった点・改善点などを説明する。 ・工事開始から終了までの一連の流れを体験できるように、工事内容に留意する。 ・座学で学んだ事が実技で活用できるように、実技指導者は訓練経過や内容を随時確認する。 ・基本的なルールを守れる人材育成を目指す。 			
備考				

06 株式会社 坂本板金

代表取締役：坂本 友広
 所在地：茨城県つくば市高崎48-1
 企業概要：屋根、外壁、雨樋などの施工・金属加工
 従業員数：11名
 訓練職種：内外装板金
 U R L：http://sakamoto-bankin.co.jp/



事業参加のきっかけ

会社を立ち上げた時から人を育てることを考えておりましたが、自営業として11年が過ぎた頃、従業員を雇うことを決めました。それ以来、従業員には仕事を通して、自分の仕事に誇りを持ち、生きがいを見出して、この仕事をやって良かったと言ってもらいたいと思っていました。そのためには困難にも挑戦し成長していかなければならないと考えています。特に人材育成は会社の発展のために大変重要です。このような中で、茨城県技能士会連合会から本事業の「新人技能者人材育成プログラム」についての紹介があり、人材育成について良い機会と思い、参加しました。

取り組みの内容

現場作業は高いところでの作業が多いため、安全、人の命が一番大切と考え、技術の向上だけでなく、姿勢や立ち振る舞いなど態度教育も大切だと考え、身に付けるよう指導しました。「新人技能者人材育成プログラム」を有効に活用し、座学(Off-JT)でKY活動などの基本を学び、実技(OJT)で現場作業を体験しながら仕事を覚えられよう体系的に指導に取り組みました。



本事業の成果

弊社の従業員は、入社して1～3年間は一生懸命に働いておりましたが、なかなか定着しません。今までは、社員評価を評価シートでは行っていませんでしたが、今回「訓練カリキュラム」に基づく技能の習熟状況を「訓練評価シート」を使用することで、訓練生と指導者による評価との相違が明確になり、相違については、訓練生と会話する機会が増え、これにより、コミュニケーションが深まり、訓練生と指導者とよい関係性を築くことができました。信頼関係があつてこそその指導だとの重要な事に気づくことができました。

今後の課題や取組

これをきっかけに「新人技能者人材育成プログラム」を上手く活用して、入社後3年、5年、10年と経過した時の職業能力基準体系を作成して将来が見える形のキャリアプランが描けるようにすることで、より一層、意欲を持って取り組める環境を作り出したいと思っています。

本事業後の声

- ・訓練生集合研修会は、大変良かったです。特に、「1分間スピーチ」の実践教育で習得した知識は、今後いろいろな場面で活かしたいです。また、「新人技能者人材育成プログラム」に従い、訓練を受けることにより多くの技術の習得ができました。これをきっかけにさらに技術力向上に努めたいと思います。(訓練生)
- ・今回の「訓練評価シート」を活用し、本人の評価と指導者との評価の相違について話し合いをすることで、コミュニケーションを深め、訓練生との信頼関係を深めていきたいと思っています。(指導者)



06 訓練カリキュラム 「内外装板金」

訓練目標		職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、職場のルールを理解する。また、屋根・外壁・樋などの板金施工について、作業の流れや自らの分担を把握し、上司・先輩などの指示を理解できるようにするとともに、安全・適切な作業ができるように、基礎的な知識・技術を身につける。		
仕上がり像		①内外装板金工事について概要を理解し、作業打合わせや現場のルールに則り工程を厳守し、内外装建築板金施工に係る基本的な業務が確実にできる。②社会人としてのマナーを身につけ、安全衛生に配慮した作業ができる。③内外装建築板金工事の作業の流れを理解し、上司・先輩などの指示を受けて適切な補助ができる。④上司・先輩などの内外装建築板金工事の補助を通じて、自らの技能の習得に努めることができる。		
職務又は作業等		職務又は作業等の内容	時間	備考
実技(OJT)	1 基本的マナー	働く意識と取り組み姿勢、ビジネスマナーなど	10	自企業で中心となる職務又は作業などを選択・削除(カスタマイズ)、時間を変更し、設定する。
	2 安全衛生作業	安全活動(5S、KYT、ヒヤリハット)、QC活動、労働安全衛生活動、環境対策、廃棄物処理など	80	
	3 段取り作業	工具(インパクトドライバー、コードリールなど)の確認、資材置き場の確認、足場の始業前点検、屋根材の運搬、現場の周辺環境確認など	710	
	4 割付・墨出し	屋根を葺き始める前に行う、屋根葺き工法の確認、屋根材の割付、スケールを用いた墨出しなど		
	5 屋根葺き	屋根材の荷上げ・材料運搬、屋根葺き作業の補助など		
	6 役物取付け	棟・ケラバなどの役物加工・取付の補助など		
	7 清掃・片付け	作業終了時の清掃、片付け、整理・整頓の実施など		
		OJT計	800.0時間	
座学(Off-JT)	1 職業能力基礎講習	ビジネスマナー、コミュニケーション、チームワーク、企業活動(事業領域・組織・経営理念など)の理解、職業倫理とコンプライアンス、接遇(身だしなみ・態度)、CS(顧客満足度)、ホスピタリティ(おもてなし)など	20	新規採用時研修と同等
	2 安全衛生	5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)、安全装置や保護具の用途と安全作業(安全点検・KY活動)、QC活動、労働災害の防止、健康管理、メンタルヘルス、リスクアセスメント、環境問題など	20	
	3 板金工具と機械の基礎知識	板金工具の種類(ハサミ、ツカミなど)の用途、加工機械の操作法など	44	OJT前の基本知識の付与
	4 板金材料の基礎知識	各種金属板(銅板・ガルバリウム鋼板・ステンレス板など)の種類や特徴、屋根材・外壁材・樋材の種類や特徴、下地材・副資材の種類や特徴など		
	5 工法の基礎知識	金属屋根葺き・板金工法の種類と特徴など		
	6 玉掛け技能講習	玉掛けの方法、玉掛けに関する力学知識、関係法令など		
	7 内外装板金2級	内外装板金2級程度の展開法など		
	8 能力評価	規則遵守、技能習得、積極性など	24	
		学科計	108.0時間	
実技	1 安全衛生作業	安全活動(5S・KYT・ヒヤリハット)、QC活動、衛生管理実務、救急法(心肺蘇生処置、AED操作)など	20	OJT前の基本技能・技術の付与
	2 段取り作業基本実技	屋根・板金材料の種類と識別、運搬、養生、整理・整頓など	24	
	3 板金作業基本実技	ハサミ・ツカミの使い方、板取りの仕方、役物などの加工法など	48	
	4 屋根葺き基本実技	屋根材ごとの割付・墨出しの仕方、屋根葺き、役物取付けなど		
		実技計	92.0時間	
		座学(Off-JT)計	200.0時間	
		訓練カリキュラム合計	1000.0時間	
取得目標資格・検定等	①建築板金(内外装板金作業)2級(技能検定) ②玉掛け技能講習(吊り上げ荷重1トン以上) ③高所作業車運転技能講習(作業床の高さ10m以上) ④足場の組立て等作業主任者技能講習 ⑤研削といしの取替え等の業務に係る特別教育 ⑥アーク溶接等の業務に係る特別教育			
指導育成のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練者の特質、習得状況に応じた指導のための工夫を行う。 ・「やってみせ、言って聞かせ、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ。」の精神で育成に取り組む。 ・訓練者は直接的に関わる部署や指導担当者だけではなく、職場全体の雰囲気や様々な社員の言動に触れる中から、学びや気づきを得るので、会社全体で育成意識の共有を図る。 			
備考				

07 有限会社 福田建設

代表取締役：福田 成利
 所在地：茨城県笠間市上加賀田1515-1
 企業概要：総合建築請負、土木建築工事、設計、施工
 従業員数：9名
 訓練職種：建築大工
 URL：http://www.fukudakensetsu.jp/



事業参加のきっかけ

弊社は、昔ながらの伝統構法(手刻み)による大工の技術を大切に建築会社です。手刻みのできる一人前の職人として活躍するまでに何年もの時間をかけて人材の育成を行ってきました。近年は、プレカットなどの技術が進み実践での手刻みの技術を教える時間も少なくなり、手刻みのできる大工も少なくなってきました。そんな中、茨城県技能士会連合会から本事業の「新人技能者人材育成プログラム」のことを聞き、これからの職人育成ということに興味を持ち、参加しました。

取り組みの内容

「新人技能者人材育成プログラム」に基づき、大工の基本・施工過程の段取りや作業を、指示・計画に従って安全にできるように、基本的な知識および技能・技術を習得するように訓練しました。

また、建築大工の基本技術として大変重要で難しい「墨付け」「手刻み」なども、訓練に盛り込み実施しました。



本事業の成果

指導内容を「新人技能者人材育成プログラム」に基づき実施し、「訓練評価シート」により訓練生自身による習得状況を明確にして、指導者とのすり合わせを定期的に行うことにより、以前よりスムーズに人材育成を行うことができました。

今後の課題や取組

お客様に、理想の家を建て満足していただくために、更に新人技能者、中堅技能者、上級技能者の大工技術力向上に努めたいと考えています。今後の取組みは、「新人技能者人材育成プログラム」をより自社の業務に合うよう見直ししていくことです。将来的には、この「新人技能者人材育成プログラム」をベースにして拡張(中級技能者向け、上級技能者向け)した人材育成プログラムを開発し、スピーディーに習得できるよう指導を行い、特に手刻みの技術の習得に力を注ぎ、伝統の技を未来につなぐ建設会社を目指します。

本事業後の声

・訓練生集合研修会で、仕事のベースとなる社会人の基本的マナーなどいろいろと学ぶことができ、将来、自分が教える立場になった時に役立つと思い、良い経験になりました。また、技能検定(建築大工3級)など資格取得などの目標が明確となりました。(訓練生)

・今までは、現場ごとに指導者が代わっていましたが、「新人技能者人材育成プログラム」を活用することで、訓練生の教育指導者を一人にすることができ、より効率の良い指導が実践できました。(指導者)



07 訓練カリキュラム 「建築大工」

訓練目標		職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、職場のルールを理解する。また、大工工事業について、作業の流れや自らの分担を把握し、上司・先輩などの指示を理解できるようにするとともに、安全・適切な作業ができるように基礎的な知識・技能を身につける。					
仕上がり像		①大工工事業について概要を理解し、現場のルールに則り工程を遵守し、施工にかかる基本的な業務が確実にできる。②社会人としてのマナーを身につけ、安全衛生に配慮した作業ができる。③大工工事の作業の流れを理解し、上司・先輩などの指示を受けて適切な補助ができる。④将来的に目指す大工像をイメージし、その実現に向けてのキャリアパスを自覚できる。					
職務又は作業等		職務又は作業等の内容	時間	備考			
実技(OJT)	1	基本的なマナー	働く意識と取組み姿勢、ビジネスマナーなど	10	必須実施項目		
	2	法令遵守と現場マナー	安全装置・保護具の装着、事故防止、環境保全(ごみ分別など)、事故などの報告、周囲へのあいさつ、騒音などの配慮、整理整頓など	50			
	3	段取り	資材置き場・工具類の保管場所の確認、足場の点検、材料運搬、工具類の点検など	60			
	4	建て方	指示にもとづく①建て方②金物取り付け③土台据え付け④筋交い取り付けの施工など	680		全項目の実施を求めるものではなく、自社で中心となる、または習得させるべき作業を精査し、作業工程を意図した内容・順序で訓練を実施、左記時間を確保する。	
	5	各部下地	指示にもとづく①下地材取り付け②軒仕舞い③防水紙の張り込み施工など				
	6	各部仕上げ	指示にもとづく①構造用合板・石膏ボードの張り付け②フローリング施工③サイディング施工など				
	7	省エネ施工	指示にもとづく適切な断熱施工など				
	8	リフォーム	指示にもとづく内装改修にともなう解体作業など				
			OJT計 800.0時間				
座学(Off-JT)	学科	1	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、コミュニケーション、チームワーク、職業倫理とコンプライアンス、接遇、キャリアパスなど	20		OJT前の基礎知識修得
		2	安全衛生	5S、安全装置や保護具の用途と安全作業、QC活動、労働災害の防止、健康管理、メンタルヘルス、リスクアセスメント、環境問題、製造物責任など	20		
		3	大工道具、機械の基礎知識	手道具、電動工具、木工機械、工具の取り扱いなど	44		
		4	木材・木造知識	樹種、木材知識(特性など)、継手・仕口の知識など			
		5	木質構造理解	木造の基礎知識、工法、規矩術など			
		6	図面の理解	伏図・木拾い、設計図書、原寸型板など	24		
			学科計 108.0時間				
実技	実技	1	大工道具、機械の基礎知識	手道具、電動工具、木工機械、工具の取り扱いなど	20	OJTと並行して基礎技術を習得	
		2	構造材の加工	墨付け、構造材加工、規矩術など	24		
		3	建て方	土台組、軸組、床組、小屋組の建て方、接合金物取り付け、筋交い取り付けなど	40		
		4	各部仕上げ	床、壁、天井、外部など(構造用合板、石膏ボード、フローリング、サイディング張りなど)			
		5	断熱施工	省エネ基準適合断熱施工など	8		
			実技計 92.0時間				
			座学(Off-JT)計 200.0時間				
			訓練カリキュラム合計 1000.0時間				
取得目標資格・検定等	①建築大工3級(技能検定) ②玉掛け技能講習 ③足場の組立て等に係る特別教育						
指導育成のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の目標、内容、訓練による最終仕上がり像などを訓練者自身が十分理解できるように説明する。 ・訓練者が行った訓練の成果をその都度確認し、良かった点・悪かった点・改善方法などを伝える。 ・工事開始から終了までの一連の流れが体験できるよう、実技訓練を実施する順序などに配慮する。 ・Off-JTで学んだことがOJTで活用できるよう、OJT指導者は訓練の経過や内容を随時確認する。 ・技能者であるとともに社会人であることを意識させ、社会人としての基本的なルールを守れる人材育成を目指す。 						
備考							

訓練評価シート「造園(例)」

A:常にできている B:大体できている C:まだまだである
(月毎に評価結果をA・B・Cで、また「評価を行わなかった」場合は(斜線)を該当欄に記載する。)

職務・作業番号	職務又は作業等	自己評価			企業評価			職務遂行のための基準	備考
		○月	○月	○月	○月	○月	○月		
1	基本的マナー							(1) 出勤時間、約束時間などの定刻前に到着している。	
								(2) 職場の上位者や同僚などに対し、日常的な挨拶をきちんと行っている。	
								(3) 職場において、職務にふさわしい身だしなみを保っている。	
								(4) 上司・先輩などの上位者や同僚、お客様などとの約束事は誠実に守っている。	
								(5) 自分が犯した失敗やミスについて、他人に責任を押し付けず自分で受け止めている。	
								(6) 状況に応じて適切な敬語の使い分けをしている。	
								(7) 接客時・訪問時などに基本的なビジネスマナー(挨拶・身だしなみなど)を実践している。	
2	安全衛生作業							(1) 会社や現場の定める安全規定の内容を正しく理解し、これに反する行動は行っていない。	
								(2) 環境問題に対する意識を持ち、廃液(薬剤)・廃棄物の処理やリサイクル・分別収集など、ルールに則った対応をしている。	
								(3) 事故防止のため、心身の健康を自己管理している。	
								(4) 造園作業全体の中での、自分の担当工程や担当作業の役割を正しく理解し、作業している。	
								(5) 担当作業の標準作業を把握し、正しい方法で作業を行っている。	
								(6) 作業の実施方法や実施手順に曖昧な点がある場合には、曖昧なままにすることなく、必ず上司や先輩に質問し解決している。	
								(7) 常に身の回りの整理・整頓や清掃を行うなど、作業しやすく衛生的な環境づくりに努めている。	
3	現場準備作業							(1) 小集団活動など組織的な改善活動に取り組んでいる場合には、積極的に参加している。	
								(2) 上司・先輩などの指示にもとづき、救急法(心肺蘇生法、AED操作)ができる。	
								(1) 造園材料や道具の種類・使用法を理解し、作業ができる。	
								(2) 造園材料や道具の分別保管法を理解し、作業ができる。	
								(3) 造園材料や道具の運搬・整理整頓方法を理解し、作業ができる。	
								(1) 施工箇所の環境や施工時期、植栽の特性などに応じ、樹木を適正かつ円滑に植栽する方法を理解し、作業ができる。	
								(2) 柵・塀及び垣根などの構造物を施工する方法を理解し、作業ができる。	
4	植栽 (樹木の植込など)							(3) 庭石組や石積みなどの施工方法を理解し、作業ができる。	
								(4) 庭園や広場などその歩行空間を施工する方法を理解し、作業ができる。	
								(5) 造園工事に関連して発生する土木関連・建築関連工事の施工方法を理解し、作業ができる。	
								(6) 作業における機械・工具の取り扱い・手入れ・保管法などを理解し、作業ができる。	
								(1) 基本的な文書作成・表計算ができる。	
								(2) 見積書・積算書・業務計画・勤務表などの作成ができる。	
総評・コメント									

評価シートII : 座学(Off-JT)学科

職務・作業番号	職務又は作業等	自己評価			企業評価			職務遂行のための基準	備考
		○月	○月	○月	○月	○月	○月		
1	職業能力基礎講習 【ビジネスマナー、コミュニケーション、チームワークなど】							(1) 職場における、職務にふさわしい身だしなみを知っている。	
								(2) 職場の上位者や同僚などに対し、日常的な挨拶の仕方を知っている。	
								(3) 状況に応じた適切な敬語の使い分けを知っている。	
								(4) お客様への礼儀正しい応対法(お辞儀・挨拶・言葉遣いなど)を知っている。	
								(5) CS(顧客満足度)やホスピタリティ(おもてなし)などの重要性を理解している。	
								(6) 上司・先輩などの上位者に対し、正確にホウレンソウ(報告・連絡・相談)を行うことの大切さを知っている。	
								(7) チームプレーを行う際には、仲間と仕事や役割を分担して、協同で取り組むことの大切さを理解している。	
								(8) 相手の心情に配慮し、適切な態度や言葉遣い・姿勢で、依頼や折衝をすることの大切さを理解している。	
								(9) 会社の事業領域・組織・経営理念・社是などを理解している。	
2	安全衛生 【5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)、安全装置や保護具の用途と安全作業など】							(1) 作業場を常に整理するなど、危険を誘発する要因除去の大切さを知っている。	
								(2) 法令や職場のルール・慣行などを、遵守すべきことを知っている。	
								(3) 会社や工場・現場の定める安全規程の内容を正しく理解している。	
								(4) 安全装置や保護具の用途を知り、適切に使用・装着することの重要性を理解している。	
								(5) 材料の無駄をなくすことなど、4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)に心掛けることの大切さを理解している。	
								(6) 小集団による組織的な改善活動の大切さを知っている。	
								(7) KY活動・リスクアセスメントの重要性を理解している。	
								(8) メンタルヘルスや自己管理の大切さを理解している。	
								(9) 製造物(造園)責任の重大性を理解し、自身がその一翼を担っている自覚を持っている。	
3	造園・庭園文化・技術							(1) 造園・庭園の、文化的意味・意義・社会的価値を理解している。	
								(2) 伝統的な日本および西洋庭園の、基本的な手法・技術を理解している。	
								(3) 都市公園および自然公園の種類・構成・特徴について、一般的な知識を有している。	
4	樹木などの知識							(1) 樹木に関する予備知識、植栽方法について理解している。	
								(2) 樹木の運搬方法について、クレーンの玉掛け作業などを理解している。	
								(3) 灌水を必要とする樹木に関する知識を有している。	
5	造園工事などの知識							(1) 植木・垣根などの施工について理解している。	
								(2) 石工事(飛び石・敷石・延べ石など)施工について理解している。	
								(3) 植木・垣根・石工事に必要な道具などの知識を有している。	
6	作業管理							(1) 施工箇所の環境や施工時期、植栽の特性などに応じ、樹木を適正かつ円滑に植栽する知識を有している。	
								(2) 柵・塀及び垣根などの構造物を施工する知識を有している。	
								(3) 庭石組や石積みなどを施工する知識を有している。	
								(4) 庭園や広場など、その歩行空間を施工する知識を有している。	
								(5) 造園工事に関連して発生する、土木関連・建築関連の工事を施工する知識を有している。	
7	造園関連法令							(1) 都市公園法、自然公園法、農業使用に関する法律、関連工事に関する法律などについて理解している。	
								(1) 実習日誌などの文書作成、並びに報告する知識を有している。	
								(2) 造園関連データの実績や知識を蓄積・管理する方法を理解している。	
8	IT概論							(3) CAD図面作成システムについての知識を有している。	
総評・コメント									

評価シートIII : 座学(Off-JT)実技

職務・作業番号	職務又は作業等	自己評価			企業評価			職務遂行のための基準	備考
		○月	○月	○月	○月	○月	○月		
1	安全衛生作業							(1) 会社や現場の定める安全規定の内容を正しく理解し、これに反する行動は行っていない。	
								(2) 環境問題に対する意識を持ち、廃液(薬剤)・廃棄物の処理やリサイクル・分別収集など、ルールに則った対応をしている。	
								(3) 事故防止のため、心身の健康を自己管理している。	
								(4) 造園作業全体の中での、自分の担当工程や担当作業の役割を正しく理解し、作業している。	
								(5) 担当作業の標準作業を把握し、正しい方法で作業を行っている。	
								(6) 作業の実施方法や実施手順に曖昧な点がある場合には、曖昧なままにすることなく、必ず上司や先輩に質問し解決している。	
								(7) 常に身の回りの整理・整頓や清掃を行うなど、作業しやすく衛生的な環境づくりに努めている。	
2	段取り作業							(8) 小集団活動など組織的な改善活動に取り組んでいる場合には、積極的に参加している。	
								(9) 上司・先輩などの指示にもとづき、救急法(心肺蘇生法、AED操作)ができる。	
								(1) 造園材料や道具の種類・使用法を理解し、作業ができる。	
3	造園基本実習							(2) 造園材料や道具の分別保管法を理解し、作業ができる。	
								(3) 造園材料や道具の運搬・整理整頓方法を理解し、作業ができる。	
								(1) 施工箇所の環境や施工時期、植栽の特性などに応じ、樹木を適正かつ円滑に植栽する方法を理解し、作業ができる。	
								(2) 柵・塀及び垣根などの構造物を施工する方法を理解し、作業ができる。	
								(3) 庭石組や石積みなどの施工方法を理解し、作業ができる。	
4	IT実習							(4) 庭園や広場などその歩行空間を施工する方法を理解し、作業ができる。	
								(5) 造園工事に関連して発生する土木関連・建築関連工事の施工方法を理解し、作業ができる。	
								(6) 作業における機械・工具の取り扱い・手入れ・保管法などを理解し、作業ができる。	
総評・コメント									

訓練評価シートABC判定目安表(評価ガイドライン)の考え方

評価記号	訓練評価シート上の定義	判定目安表(評価ガイドライン)で示した行動イメージ
A	常にできている (頻度80%以上)	(基準を上回る質の高い行動がみられた) 具体的な判定目安としては、 ・逐一詳細に指示しなくとも、作業指示手順書や作業マニュアルに基づいて、確実に作業を行うことができた ・正確・迅速にできた ・十分理解していた
B	大体できている	(概ね基準に沿った行動がみられた) 具体的な判定目安としては、 ・概ね指示されたとおり遂行できていた ・多少基準に足りないところがあったとしても、実務上特段の支障がない ・概ね理解していた
C	まだまだである (頻度20%未満)	(明らかに基準に到達していなかった) 具体的な判定目安としては、 ・理解不十分で、指示されたことができないことが多い ・実務上支障をきたしている ・積極的にやろうという姿勢が見られない

